

頑張れ店長

積極策が成功する年に

「関東・A店長」

2年目、発信力を高めたい

「昨年はあまりにも大きな苦難が多...」

なんとがヒット機種を

「営業的にはヒット機種の登場を願っています...」

「なり方向転換するわけにはいきませ...」

「まちづくり」に積極参加

「うちのホールも、地元商店街のまちづくりプロジェクト...」

店長からの投稿

私は競馬が好きで、競馬場や場外馬券売場によく足を運びます。

しかし、馬券売場とその周辺の雰囲気はいただけません。どんより濁った空気、床に散乱する馬券、お客さんたちのむっつりした顔、何より会話が聞こえません。

パチンコと競馬は業態が違うので一概に比較はできませんが、レジャー産業という点で比べると、うちのホールの雰囲気は明るい

他業種と比べても 明るくて、こまやか 誇れる接客です

です。来店されたお客様への挨拶、スタッフのきびきびした動作、大当たりしたお客様への祝福...店のきめ細やかな対応がお客様を居心地よくしているのです。

業界では当たり前のように行っている接客ですが、他の業種と比べてみると、ホールは実に立派な接客をしているのだと改めて思います。(関東・店長)

「売って盛り上げています。今年は積極的に関わって、商店街に人を呼び戻し、ホールの集客にもつなげようと思っています」(中部・C店長)

「店長になって2年目。若葉マークが取れる今年は正念場です。1年目は前任の店長が敷いた路線を踏襲して、可もなく不可もなくといった営業でしたが、我ながら物足りなさを感じています。今年は、店として地域清掃活動を始める、季節に応じた景品で話題づくりをする、新台導入イベントではスタッフを着ぐるみを着て盛り上げる、店のスタッフにはそうした活動を紹介することで発信力を高め、店のファンを増やしていきたいと考えています」(中部・B店長)

新任の店長さんとしては、いき

外国人の献金を禁止する「規正法」 禁固か罰金、寄付した方は処罰なし 気をつけないと「ひいきの引き倒し」

民主党の前原政調会長が外務大臣を務めていたとき、彼の政治団体が外国人から長年にわたって献金を受けていたことが判明し、その責任をとって外相を辞任しました。その後も、他の国会議員や地方議員などの政治団体が外国人、あるいは外国人が過半数の株式を保有する企業から献金を受けていたことが明らかになり、問題化しています。

政治資金規正法は、外国人、外国法人、あるいは主たる構成員が外国人や外国法人である企業や団体から政治団体が寄付を受けることを禁じています。政治団体に係る政治家が現役の議員であるか否かを問いません。つまり、これから立候補する政治家や落選中の政治家の政治団体も外国人や外国法人からの寄付が禁止されているのです。違反すると、寄付を受けた者は3年以下の禁固または50万円以下の罰金に処せられますが、寄付をした者については処罰規定がありません。ただし、5年以上にわたって上場し続けている企業については、外国人が過半数の株式を保有している場合、寄付は禁じられていません(同法22条の5)。

外国人や外国法人からの寄付を禁じているのは、国レベルでも地方レベルでも政治が外国人の影響を受けることを排除するためです。それに関連していうと、日本国憲法14条は「すべて国民は、法の下に平等であって、人種、信条、性別、社会的身分又は門地により、政治的、経済的又は社会的関係において、差別されない」としています。つまり、日本国籍を有している国民と、国籍を有していない外国人とを憲法自体が区別しているのです。

何代にもわたって日本で暮らしている在日外国人を国籍が違うために「外国人」とひとくくりにするのは違和感があるかもしれませんが、法律的にはそうなっているのです。政治家を応援しようと献金したら、外国人から献金を受けたとして政治資金規正法違反に問われて「ひいきの引き倒し」になりかねないのですから、くれぐれも御注意を。

(監修・日遊協顧問弁護士 堤義成、同 岩本康博)

新人教育に燃えています

「店長になって8年。店を3つ任されましたが、いずれも業績を伸ばしてきました。今年あたりは複数の店を統括するエリア長に昇格するかもしれませんが、現場を離れるのは寂しいですが、新台のまとめ買い、店舗間の遊技機の移動、景品の大量仕入れなどで、納期を早めてもらったり、コストダウンを図れるなど腕を振るえます」(関東・D店長)

将来は営業部長になって、全店舗を指揮したいというD店長にとって、エリア長はその第一歩だと言います。

「最近では人材育成に燃えています。この業界は人材次第のことが強く、優秀な人間が然るべきポジションに就けば、その店や会社はグングン伸びます。一昨年少入社した新人君は見所があったので、私が目をかけたら頭角を現したので、入社1年半で副主任に抜擢されました。この数年の就職難は、これまで優

秀な人材に恵まれなかった私どものような業界にとって絶対機です。人事部の話によると、今年の新入社員も期待できるそうです。素質があれば幹部候補生として教育し、会社になくしてはならない社員に育てようと、今から手ぐすね引いて待っています」(近畿・E店長)

E店長によると、自分の体は一つしかないが、教育すれば何人も育てることができるので、これからは人材育成に力を入れるそうです。

同業になる息子の手本に

「今年、大学3年生になる息子がいます。就職のことを考えているかと思って聞いたら、『オヤジの業界に行こうかと思っていますけど、どうだろうか』と言います。仕事が忙しくて子育ては母親任せ、家族旅行もほとんどしなかったし、あまり良い父親ではなかったと思ってきました。しかし、息子にとってはそれほど悪い父親ではなかったのかもしれないと思うと、ジンとききました。息子のレベルなら商社でも金融でも行けると思うのですが、『本気でホール業界に行きたいなら、オレも全力で応援するから頑張れ』とエールを送りました。将来、同業者になる息子の手本になるような立派な仕事をしようという今年は張り切っています」(関東・F店長)

「父親と同じ道を歩みたい」と息子に言われる父親は幸せ者なのです。

昨年はひどい大震災があったので、今年はそれを補ってあまりあるほどの良い年にしたいものです。今年の干支は辰です。株式相場の格言では、「丑つまずき、寅千里を走り、卯跳ね、辰巳天井」といいます。今年に期待しましょう。